

吉日の意味

はじめに

お仕事で何かの募集を開始する時や、何かを新しく始める時に開運日に合わせられるといいですよ。

あまり気にしすぎても・・・なのですが、合わすことができるならぜひ開運日に合わせて行動していくと良いエネルギーの恩恵にあずかることができるかもしれませんね。

そこで、2021年開運日カレンダーを作りましたので、皆様のお仕事に役立てて頂ければ幸いです。

各、吉日の説明は以下をお読みください。

2021年 大開運日

2021年の大開運日は以下の3日です。

1月16日(土) 天赦日+一粒万倍日

3月31日(水) 天赦日+一粒万倍日+寅の日

6月15日(火) 天赦日+一粒万倍日

一粒万倍日

「いちりゅうまんばいび」もしくは「いちりゅうまんばいにち」と読みます。

「一粒万倍」とは、一粒の小さな粃（もみ）であっても成長をして万倍にも実る見事な稲穂になるということの意味です。つまり、始めたことが何倍にも膨らむと言われており、新しい物事をスタートさせるには最適な開運日です。

「一粒万倍」にすると良いアクション

- 開業
- 新たなビジネス、プロジェクト
- 結婚
- 出生届
- 銀行の口座開設
- 出資
- 引越し
- 習い事を始める
- 宝くじの購入
- お財布の購入

ただし、「一粒万倍日」にお金を借りることは避けた方が良いでしょう。借金が膨れ上がってしまう可能性があるので注意が必要です。

天赦日

「てんしゃび」または「てんしゃにち」と読みます。

天がすべての罪を赦（ゆる）すという最上の吉日。何に関しても良い開運日です。年に数回しかない、大変貴重な日とされています。

「天赦日」にするとよいアクション

- 開業
- 新たなビジネス、プロジェクト
- 結婚
- 出生届
- 銀行の口座開設
- 接待
- 出資
- 引越し
- 習い事を始める
- 宝くじを買う
- お財布の購入

「天赦日」にすると良いことは、「一粒万倍日」とほぼ同じです。「天赦日」に避けるべきことは特にありません。

寅の日

「とらのひ」と読みます。

「寅の日」は、金運が高まる吉日として暦の中で人気の日です。

「寅の日」の寅は、もちろん動物の虎を表しています。虎は古来より『千里を行って千里を帰る』ことができると言われており、「この日に旅行に出かければ、安全に帰ってくる事ができる」と言われるようになりました。

このことから、ゲン担ぎとして「この日に財布を買えば、出て行ったお金を呼び戻してくれる」と伝えられるようになったのです。

「寅の日」にするとよいアクション

- 旅行
- お金にまつわること（財布の新調、宝くじの購入）

「寅の日」は、旅行では無事に帰ってくるという意味合いになり、お金は使っても戻ってくるということで、金運が期待できます。

逆に「寅の日」には不向きで避けるべきことは、結婚と葬儀です。どちらも、元の家に戻って来てしまうということから避けるべきこととされています。

巳の日

「みのひ」と読みます。

「巳の日」の巳は、蛇を表しています。蛇使いの神様と言われ、一説には蛇の化身とも言われている、弁財天という神様と縁の深い日とされています。この、弁財天という神様は七福神の中で、金運にご利益のある神様です。そのため「巳の日」に、お金にまつわるお願い事をする、蛇が使いとなって弁財天に届けてくれると言われていています。

「巳の日」にするとよいアクション

- お金にまつわること（お財布の購入、宝くじの購入）
- 弁財天を祀っている神社へお参り

「巳の日」には不向きで避けるべきことは、結婚と婚約です。弁財天様は七福神の中で唯一、女神ということもあり、実は嫉妬深い神様だと言われているのです。「弁財天を祀っている神社にカップルで行くと別れてしまう」という言い伝えもあるほどです。

一見とても良い日に思えるのですが、男女の幸せにまつわることは、「巳の日」は避けておいたほうが無難です。

己巳の日

「つちのとみのひ」と読みます。

「己」は五行でいうと「土」にあたるのですが、土の中から鉱物が出てくるように、「土」から「金」が生まれると考えられているのです。このことから、「己」は「巳の日」のパワーをさらに強めてくれると考えることができます。

「己巳の日」を選ぶと良いこと、そして避けるべきことは、「巳の日」と同じですが、「己巳の日」は60日に1回しかない、貴重な吉日でもあります。なので「巳の日」よりも強力な金運を望むときには、「己巳の日」を選ぶのが良いでしょう。

大明日

「だいみょうにち」と読みます。

「大明日」は「天と地の道が開け、隅々まで太陽の光が照らされる日」という意味があります。全てに太陽の恵みが授けられるわけですから、最高開運日だと考えられています。

「大明日」にするとよいアクション

- 結婚
- 入籍
- 旅行

-
- 引っ越し

特におすすめなのが、「旅行」や「引っ越し」など、移動を伴うことです。

「大明日」に避けるべきことはありませんが、気をつけたほうがいいこととして、凶日が重なると効果を発揮できないという説もあります。なので、あらかじめ凶日が重なる日も気にしておいたほうがいいかもしれません。

母倉日

「ぼそうにち」と読みます。

「母倉日」は天が人を慈しむ日と言われており、吉日とされています。「まるで母親のように人と慈しむ」ということから、母親になる前段階である、結婚にまつわることに最適な日だと言われているのです。また、住まいは結婚に関わることから、引っ越しや家を建てることにも最適です。

「母倉日」にするとよいアクション

- 入籍
- 結婚式
- 引越し
- 家の新築

「母倉日」の場合は、「仏滅」や「赤口」などの凶日が重なったとしても、凶を打ち消すことができると言われ、問題がないとされています。例えば、吉日・開運日を調べた際に「入籍したい日が仏滅だった」という場合でも、「母倉日」であれば気にする必要はないでしょう。避けるべきことも、特にありません。

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

このレポートの著作権は発行者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用することを禁じます。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。

著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・オーナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者は一切の責任を負わないことをご了承願います。